

2011年3月16日

東北関東大震災に先立つ降雨と山地災害について

地盤災害研究部門 山地災害環境分野

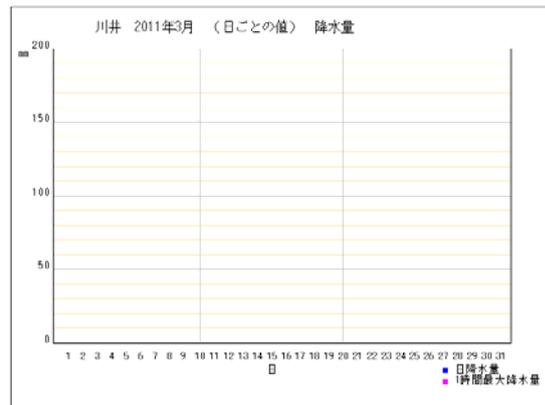
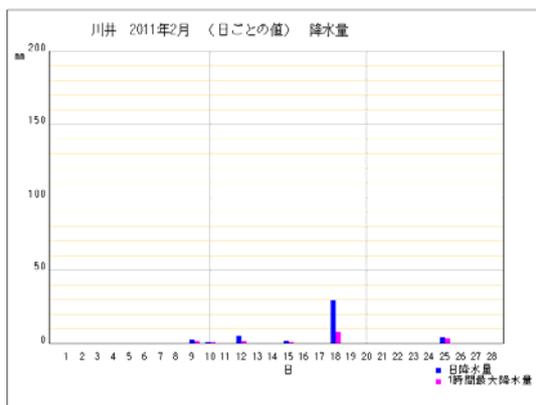
今回の震災では、地震の巨大さに比べて報道される山地災害が極めて少ない。一因は地震前に降雨が少なかったことにあるとも考えられるので、それを整理し、また、以前の地震災害の場合と比較してみた。今回の地震の前には降雨が少なく、また、気温も低かったことがわかる。

地震前の降雨と気温の状況(データはアメダスによる)

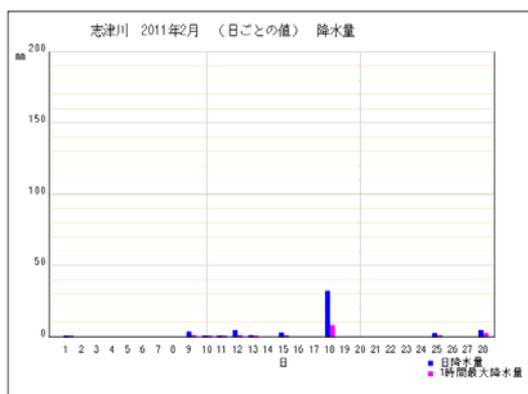
地震前の降雨状況

Precipitations before the earthquake (AMEDAS)

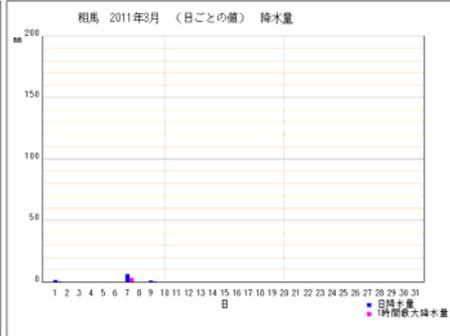
Kawai 川井



Shizugawa 志津川

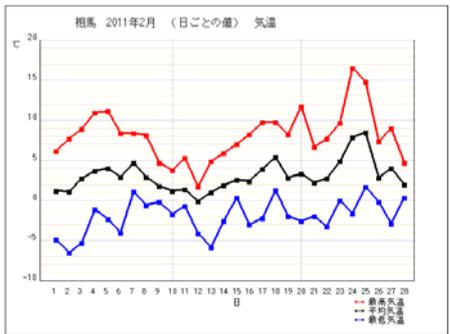


Souma 相馬

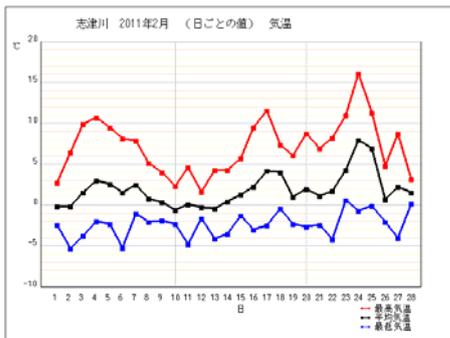


気温 Temperature

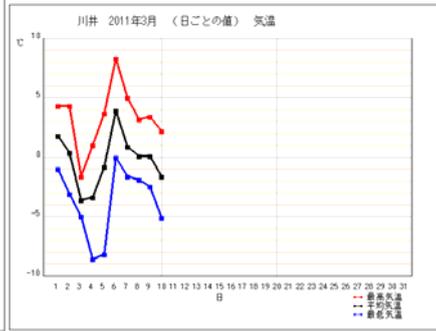
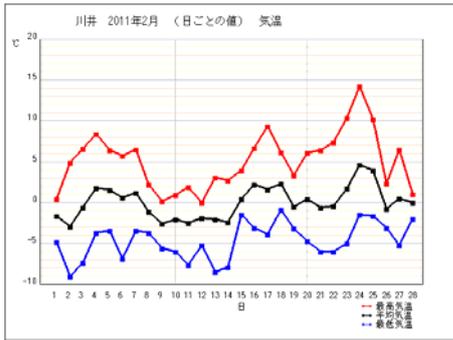
Souma 相馬



Shizugawa 志津川

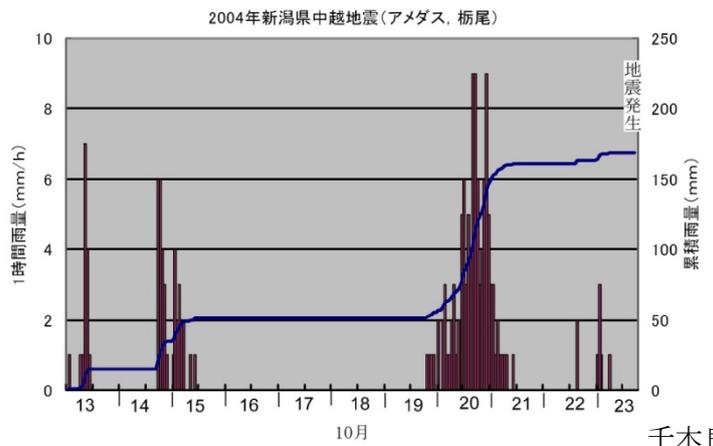
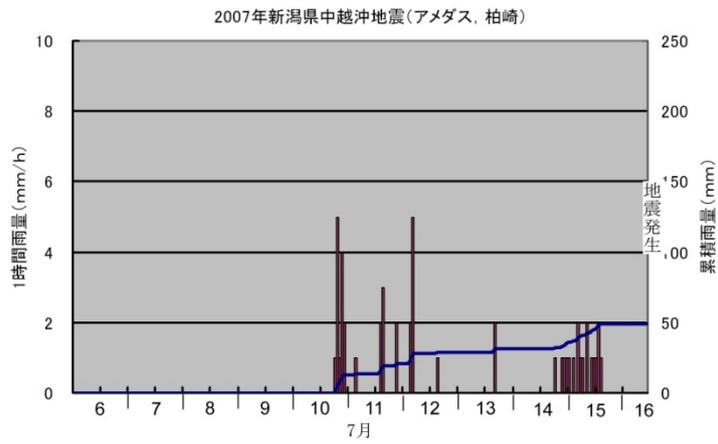
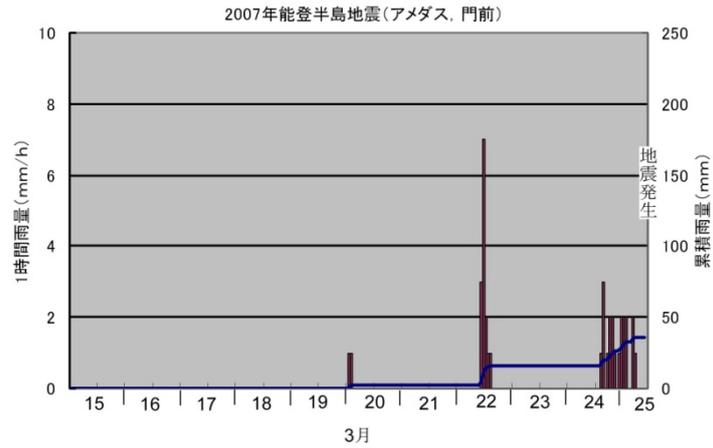


Kawai 川井



参考：過去の地震時前の事前降雨状況

2007年能登半島沖地震(3月25日、Mj6.9)、2007年新潟県中越沖地震(7月16日、Mj6.8)、2004年新潟県中越地震(10月23日、Mj6.8)。この中で中越地震のみが事前に多量の降雨を経験しており、また圧倒的に多数の山崩れを生じた。地質と地形は、3者とも類似している。



千木良雅弘